

2025 年度 東京交通短期大学入学者選抜問題出題意図・方針

1. 2025 年度 東京交通短期大学 一般選抜 基礎学力試験 出題意図・方針

一般選抜においては領域ごとに以下のような出題意図・方針に基づいて基礎学力試験問題を作問しています。これらの問題への解答状況から、アドミッションポリシー「② 基礎的学力を有し、向学心を絶えず抱いている者」に沿った者であるかどうか、ディプロマポリシー「② 交通産業および関連分野での基礎能力(技術・理論)を有し、関連分野で活躍可能な能力」を潜在させている者であるかどうかを判定しています。

【国語領域】

本学の授業、特に国語領域を引き継ぐ性質を持つ授業においては、交通に関する法令や先行研究の内容を正確に理解しかつ他者に伝える能力（リテラシー）の向上を目指しています。そのためその授業を受講する準備ができているかどうかを判定することを重視しており、言葉の正確な用法を身につけているかどうかを大問 1,2 において見極めることを意図しています。

また、多くの学生が目指す鉄道現場においては現在もなお旅客対応や従業員同士のコミュニケーションにおいて手書きの紙が一定の比重を持っています。そのため、漢字の正確な書き取り能力を身につけているかどうかを大問 3,4 において見極めることを意図しています。

【数学領域】

本学の授業、特に数学領域を引き継ぐ性質を持つ授業においては、交通・観光業界への就職活動の際に必要な基礎的な数学力の習得や、交通・観光領域の実務や資格取得で必要とされる数的処理能力の向上を目指しています。そのためその授業を受講する準備ができているかどうかを判定することを重視しており、基礎的な数的処理能力を身につけているかどうかを大問 1 において見極めることを意図しています。

また、電気・抵抗などを扱う工学領域の授業を受講する準備として、代数学の基礎的能力を身につけているかどうかを大問 2 において見極めることを意図しています。

加えて、交通・鉄道領域における情報機器の利用の進展を受けて、学生の多くが目指す交通領域の現業職員にも統計学の素養が必要とされつつあることを受けて開講している統計学の授業を受講するうえで必要な統計学の基礎的能力を身につけているかどうかを大問 3 において見極めることを意図しています。

【英語領域】

本学の授業、特に英語領域を引き継ぐ性質を持つ授業においては、基礎的なリーディング能力と交通・観光領域における会話能力の向上を目指しています。そのためその授業を受講する準備ができているかどうかを判定することを重視しており、基礎的な単語に関する知識を身につけているかどうかを大問 1,2 において見極めることを意図しています。加えて、会話能力に強く関連する発音についての基礎的知識を身につけているかどうかを大問 3 において見極めることを意図しています。さらに、会話・リーディングの双方に関連する文法についての基礎的知識や基本的な作文能力を身につけているかどうかを大問 4 において見極めることを意図しています。

2. 2025 年度 東京交通短期大学 学校推薦型選抜・一般選抜 小論文 出題意図・方針

いずれにおいても、交通・鉄道領域の時事問題と、政治・経済領域の時事問題を出題しました。2 題のうちから 1 題を選択できる形式です。本学においては交通・鉄道領域に強い関心をもつ学生が多く、その興味・関心に応えるべく、同領域の専門的な授業を多数開講しています。その授業を受講するための知的な準備状況の度合いを見極めることを意図しています。また、交通・鉄道領域は行政による規制の強化や緩和、内外の経済状況に強く影響を受けます。そのため政治・経済領域の時事問題も選択肢のひとつとして出題しています。

3. 2025 年度 東京交通短期大学 総合型選抜 大学入学希望理由書 出題意図・方針

総合型選抜においては、大学入学希望理由書の作成を課しています。本学への入学を希望する理由、受験生自身の特性や将来の希望やこれまでの勉学の状況などを書くことを課しています。

その執筆内容における語句の正確な運用や論理性などに基づいて、アドミッションポリシー「① 本学の教育理念に沿って創造的・積極的に勉学を希望する者」であるかどうか、アドミッションポリシー「② 基礎的学力を有し、向学心を絶えず抱いている者」であるかどうかを判定しています。同時に、ディプロマポリシー「① 時代や社会の要請に対応できる能力」とディプロマポリシー「② 交通産業および関連分野での基礎能力(技術・理論)を有し、関連分野で活躍可能な能力」を潜在させている者であるかどうかを判定しています。

4. 2025 年度 東京交通短期大学 全選抜区分 面接

全ての選抜において課している面接において、アドミッションポリシー「③ 人との協調性を有する者」であるかどうかと、ディプロマポリシー「③ 誠実な姿勢で、課題を発見し解決できる能力」を潜在させている者であるかどうかを判定しています。